

## カラスの効果的な被害対策

最終回の今回は、カラスの被害対策について紹介します。カラスの特性を知って、みんなで立ち向かいましょう。

おもに、「カーカー」と鳴くハシブトガラスと「ガァーガァー」と鳴くハシボソガラスが生息しています。雑食性ですが、ハシブトガラスは木の実や肉、ハシボソガラスは農作物や昆虫を好みます。また、記憶力や学習能力が高く、色を識別して人の顔も見分けま

す。被害は、トウモロコシ、スイカなどの野菜やナシ、カキなどの果実に発生しますが、畜産施設での家畜用飼料や牛を突くなどの被害も深刻です。

イネのひこばえなどの農作物の残渣（ざんさ）や田畑に捨てたくず野菜、放棄果樹などが誘引物となって、カラスを人里へ引き寄せています。そして、これらの豊富な餌によって、カラスの生息数は増えています。そのため、集落ぐるみでの誘引物の除去が重要です。また、見えにくいテグスや極細黒色ステンレス線を畑の上部などに 2.5m 間隔で格子状に張ると、翼に触れて高い防止効果が期待できます。さらに、人は怖いとカラスに学習させるための追い払いが必要です。ロケット花火や電動ガンなど（図）を使って、複数の人で追い払うと効果が高くなります。案山子（かかし）などの脅かしグッズには慣れるので、異なるグッズを組み合わせる変化をつけるなどの使い方の工夫が必要です。カラスの高い学習能力を逆手にとって、人とカラスの緊張関係を構築していくことが重要です。（島根県中山間地域研究センター 鳥獣対策科 澤田誠吾）



追い払いの道具